

	Certificate of enrollment Certificate of residence GTE 手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process : 2週間				
その他必要な事前手続き Other Required Procedures					
出国年月日/ Date of Departure	2023 年 2 月 21 日 (YYYY /MM/ DD)				
経路(往路) / Route (Outward)	成田→ ケアンズ → シドニー → ゴールドコースト				
現地でのお迎え Pick-up Service	■有/Yes (大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others) □無/No				
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	<table border="1"> <tr> <td>■有/Yes</td><td>有の場合 期間/Period : 2023/ 2/ 27 - 2023/3/6</td></tr> <tr> <td>□無/No</td><td>(If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation</td></tr> </table>	■有/Yes	有の場合 期間/Period : 2023/ 2/ 27 - 2023/3/6	□無/No	(If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation
■有/Yes	有の場合 期間/Period : 2023/ 2/ 27 - 2023/3/6				
□無/No	(If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation				
帰国年月日 / Date of Return	2023 年 11 月 23 日 (YYYY /MM/ DD)				
経路(復路) / Route (Return)	ブリスベン→成田				

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額 Total Amount	宿舎以降 1 ヶ月あたり		円/yen
	内訳 Details			
	渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)	148000		円/yen
	ビザ申請手数料/ Visa Application Charge			円/yen
	予防接種費用 / Immunization Charge	0		円/yen
	保険料 / Travel Insurance	78660		円/yen
	教材費(授業料以外の学費) / Learning Material (Extra Tuition Fee)	7500(winery 受講料)		円/yen
	宿舎費(住居費) / Accommodation Fee	133724		円/yen
	光熱費 / Utility Cost	宿舎費込み		円/yen
	食費 + 交際費 / Social Expenses + Meal Cost	140000		円/yen
	通信費(インターネット・携帯) / Internet, Phone	宿舎費込み		円/yen
	交通費(宿舎～大学間) / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	徒歩の為無し		円/yen
	その他 / Others (Sim カード費)	3630		円/yen
	(費)			円/yen
	(費)			円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について(カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	単位互換が必要なかったため学部に捉われず何の制限もなく好きな授業をとることができた。しかしその際の注意点として、各コースに course code が割り当てられているのだがその最初の数字が授業のレベルを意味している。1 から始まるものは初学年度向け、2 が2 学年、3 が最終学年のレベルで4 以降は master の学生向けになる。自分のように広島大学と異なる学部の授業を受講する場合は前提知識を必要とされるものがあるため course code が1 から始まるものを履修する方が良いと思う。Griffith の方針として最初の 2
--	---

	週間は出席にするだけで drop し、他の授業に変更することも可能。仮に最初の2週分の授業を参加できていなかったとしても、その期間内に課題を課す授業は無く教授もそれに合わせて対応してくれる。 私は Trimester 1 の時期には英語力に自信がなかったため教養科目として、心理学、プログラミング(HP 作成)、留学生向けの英語の授業をとり、Trimester2 に、微分積分学、流体・熱力学、ワイナリーの授業と自分の専門の授業も受講してみた。 どの授業も lecture, workshop or tutorial, pass session の3つから構成されていた。各 trimester どちらも週に1日は全体を設けることができた。
TRi	☐ 有/Yes ☒ 無/No
授業・勉強についてのアドバイス（留学前の履修、留学中、単位取得等） / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	授業によっては毎週の課題が割り振られており、workshop 後に進捗を確認されるものがあった。課題の量的に 90 分間の workshop 内に終わらせるのは不可能でそれ以前に自分で終わらせるようにし分からないことがあったらその workshop 内に聞くというのが主流だった。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生との関係性など） / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	lecture は広大の授業と変わらず、workshop は問題演習や講義に対してのディスカッションだった。それに参加する前に予習や事前に問題を解いていくことが求められるものもあった。Pass session はさらに理解を深めたい、疑問点がある人向けに TA が開講してもらえるもので参加は自由で、自分はほとんど参加しなかった。 受講する授業によって異なるが少人数で構成される授業もあり教授と生徒の距離は近く感じた。特に流体・熱力学の授業についてだが、受講生数は15人程度だった。そのおかげで教授は全生徒の名前と顔を覚えており生徒と教授の距離が近く、講義自体もいい意味で緊張感がなく授業中よくわからない事があるとその都度質問するというあまり日本では馴染みのないこともこの授業では日常でありよく行った。 最初の週の授業後、教授に自分が交換留学生であることを伝え、自分は交換留学生で他の人よりも英語力低く迷惑かけるかもしれないということを伝えると授業中も少しだが気にかけてもらえてありがたかった。

5. 生活等について / Lifestyle

(1) 留学先の住居について / Accommodation

住居の種類 Type of Accommodation	☒ 大学の寮 / University Dormitory ☐ アパート / Apartment ☐ その他 / Others ()		
住居の広さ Size of the Room	約/approximately 12 m ²	同居人の有無 Roommate(s)?	☒ 有 / Yes (5人/People) ☐ 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	☒ 電気/ Electricity ☒ ガス/ Gas ☒ 水道/ Water ☒ 給湯/ Hot Water ☒ シャワー/ Shower ☐ 風呂/ Bathtub ☒ 水洗便所/ Flushable Toilet ☒ 暖房/ Heating ☒ 冷房/ Cooling ☒ 台所/ Kitchen ☐ 食堂/ Dining Room ☐ 固定電話/ Land-Line Phone ☒ インターネット/ Internet ☐ その他/ Others ()		
住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month \$1337.24	(現地通貨/ local currency)	約/ approximately 133724 円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	寮のサイト方にて布団や枕などのセットを購入しチェックインの際に受け取れるようにしていた。料理器具についてだが以前住んでいた住人が置いて出て行ったものが多く残っていることが多いためそれを確認してから買う方が無駄な出費が防げる。オーストラリアの騒がしいレベルは日々の睡眠さえもままならないほどで日本のものとは比べ物にならない		

	いレベルであった。そういった部屋に割り当てられるのを防ぐため、寮の契約の際にどんな雰囲気勉強するのかを好むかと言うセクションにおいて『完全に静かな場所』を選択するをお勧めする。契約書の自由記述の欄に日本人以外のルームメイトにしてほしいと言うと返信もきちんと来て対応してもらえた。 家賃が高い分何か問題があった時の対応は早かったと思う。自分の部屋のフロアにあるオープンレンジをオープンとして使おうと試みた3度全てブレーカーが落ちてしまった。遅い時間ではあったが受付に行くときに対応してもらえた。24時間いつでもスタッフが在館しているためセキュリティに関しても問題無いと思う。結局そのオープンレンジが古いのではと言ってみるとその日のうちに新しいものに変えてもらった。何か気になることがあったらとりあえず言ってみると対応してくれると思う。 寮で快適に過ごせるかはルームメイトにすべてがかかっている。自分は結局 1trimester 後に部屋を変えてもらった。冷蔵庫の食材、料理器具は無断に使われる、洗わず放置と言うのは当たり前であった。私はインド人のルームメイトとどうしても馬が合わず3度のげんか後に部屋を変えることを決めた。部屋の変更は各トリメスター後には可能なので早めに言うておくべき。気持ちの持ち方として、自分ができることが他人にもできるとは限らない、自分の常識、考え方を人に押し付けないということを意識すると耐えることができるときもあった。しかし大抵自分のスタンスとして何か不満があるとその都度伝えていた。どちらにせよ自分にストレスが溜まらないように行動するべき。 トラブルの部屋である一定程度の期間過ごせるとで「他人に対しての許容範囲が広がる」と言うことに役立つと思う。部屋を変えてからはその後のルームメイトに恵まれ快適だった。寮に住んでいると友達の家へ軽く夜ご飯食べに行ったり招待したりとそれが簡単にできるのが非常に良かった。 家賃が高いと言われる village だが私は本当にここを選んでよかったと思う。友人と気軽に夜ご飯を一緒にしたり招待したり、部屋に行くということが自由にでき寮に住んでいたおかげでつながりも強くなった。またほぼ毎日と言っていいほどイベントがスタッフにより主催され、フリーフードも配られたりする。設備については部屋によるが9カ月ほど住んで2度だけシャワーのお湯が出ないことがあった。
(2) 医療について / Medical Care	
保険の加入先 Insurance (Who Designated)	☒ 本学指定の保険 / Hiroshima University ☐ 留学先大学指定の保険 / Host University ☐ その他 / Others ()
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 10,000,000 円 / yen, 入院 1 日 / per day of Hospitalization 円 / yen その他 / Others ()
留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	☐ 有 / Yes (種類 / Acquired Immunizations : , 医療機関名 / Location of Immunization :) ☒ 無 / No
留学先国の医療事情 (日本と比較して) Difference in Medical Service (Compared to Japan)	一緒に釣りに行った友人が岩場で足を切りその時に付き添った時の話になる。その状況だけから判断するに对应はよくなかった。その日が日曜日だったのもあり、診察時間が他の日より短いものもあるが、診察時間の 30 分前には診察受付を終了しているところも多く診てくれる病院を探すのが大変だった。彼自身、足から血を流しているのを見せられても取りあてはくられず、3 つほどタル回しされ車 1 時間ほどのところまで行くことになり、診察してもらったのは怪我してから 2 時間以上経っていた。診察といってもほぼ患部を見るだけであつという間に終わり、薬が出されてまた後日来るように言われた。 彼自身がオーストラリアで生まれ育った人であったからどうすべきか、どこに行くべきかある程度分かっていたからまだ良かったものの、自分が彼の立場にであつたと思うと恐怖でしかない。そういったことを相談できるという意味で現地の友達がいれば心強いと思う。

留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	基本的には日本と同じ感覚でいて大丈夫だと思う。水道水もずっと飲み続けたが何の問題もなかった。季節の変わり目が昼と夜でも温度差が大きくなり注意が必要。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management	
基本的に治安はとても良く、日本と同じといえるくらいの安心感があった。 どの国でも同じかもしれないがクラブとその周辺は注意が必要。クラブ内では一緒にいた友人がグラスを投げつけられたり、何か盗もうと鞆に手を突っ込まれたこともあった。これらのことが起きるのは稀ではあるが、そういう場所に行くには警戒心を少し高める必要がある。 クラブやお酒が提供される店等に行くときにはIDの提示が入店の際にて義務づけられている。個人的にパスポートを持ち歩くのは怖かったので現地でIDカードを作った。申請に\$78ほどかかった。	
(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice	
パスタを主に食べていた。パスタのソースも豊富で、500gのパスタが1\$以下で買えるところもあり安く済む。スーパー等でも基本的な日本の調味料は手に入り、アジアンスーパーもいたるところにあるので日本の食べ物を作ることも可能。日本の米は少し割高だが、タイ米等細長い米だと2kg、\$3で購入できる。(日本米だと1kgあたり\$10近く)。日本米でなくても水を多めに入れて炊くとなんとかかなると思う。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing	
5月の中旬くらいまで海に入れるくらいの気候。それ以降10月までは日本でいう春のようなすごく心地よく過ごしやすい。日差しには十分に注意が必要。3月の中旬くらいにサーフィンに行き、日焼け止めは塗っていたものの今までに経験したことないくらいに赤く腫れ、それから5日間程、かゆく、痛く、熱く何にも集中できないくらいに苦しんだ。日焼け止めは日本のものよりも現地で買ったもののほうがより強力のためそちらを使うほうが良い。海に入る場合は少なくとも30分前に塗ること。最初の日焼けがトラウマとなり曇りの日でも海に行く際はトップスを切るようにしていた。深刻な日焼けをしたとき "SOOV Bum" という薬を試すと良いと思う。大きめの薬局に行けば必ず手に入る。日差し強いと聞いていたが個人的にはそれほどでもなくサングラスはほぼ使わなかった。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む) / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)	
寮、大学ともにインターネット状況はとても良くトラブルもなかった。 寮のwi-fiについては毎月ログインする必要がある。大学wi-fiは初期設定が少し複雑だった気がするが、図書館内に tech support というのがありそこにもっていくと自分に代わって接続してくれた。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?) / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)	
各トリメスター前の1週間前は大学、寮主催のオリエンテーションウィークというものがありそこで知り合った人とずっと仲良くしていた。他には寮でのフリーフォードの時や、暇なときにふらっと共用スペースに行ったときに知り合った人と仲良くなった。友達の輪を広げるには友達の友達も大事にするといふ。友人が違う人としゃべっている時に他人事と思わず、会話に入ろうとしているとその友人の友人とも親しくなれる。また大学主催のイベント等で会った人の中でより親密の仲になりたいと思ったならばその後日どこか一緒に行く等個人的に遊びに誘ってみるというのがよかった。断られたらそれまでだし、承諾されれば相手側も自分に興味を持ってきているという判断基準になる。またバイトを始めたことでさらに友人の輪が広まった。 Griffith の特徴として full degree の学生として在籍するインドを中心とした留学生が多い。日本からの留学生の一部にネーティブの友達が欲しいと、過度にオーストラリア人にこだわる人が一定数いたが色々な国籍がいるのもオーストラリアという国の特徴であるため、そこに固執し続けるのは人との出会いを逃しかねずもったいないと思う。私自身オーストラリアでできた親友と呼べる一番の友人はインド人だった。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners	

習慣やマナーの違いについて特に困るほどの問題はなかったが、インドの友人との間で彼は彼自身のことを何でも自分に話してくれて、自分は人に言うほどでもないと思い伝えてないことがあり、なぜ友達なのに秘密があるのかと揉めたことがありその時に文化の違いを感じた。

生活習慣として日本は清潔すぎるほどきれいであるため、日本の綺麗さを当たり前と思っているとショックが大きいかもしれない。

BBQ を企画したり、どこかに行くという予定立てても寝坊したり、予定できたとキャンセルする人もおり、全員が参加できるということがあまり無くイライラを覚えた記憶がある。時間を守るということや、約束は守ると言うのは日本の素晴らしい文化、習慣であると思った。

(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?

日本から特に持っていくべきものはない。大学付近にダイソーもあり、ある程度のもものは手に入る。服等も日本と同じくらいの価格で購入可能でサイズ等も特に問題ないと思う。

(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad

卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	q2025 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 年 / year 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	☒ 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year ☐ 単位不足のため / Amount of Credits ☐ 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate ☐ その他 / Others (具体的に / Specific reason:)
現在の状況および今後の予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	私の学部は4年生の4月に研究室に配属されるのだが留学のため1つ下の学年と同時期に振り分けられることになった。留学が10月末までで、その後3月までは休学をし、留学中にバイトで貯めたお金でバックパッカーとして世界旅をする。来年度2024年4月に復学し、その後は大学院に進学予定。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	3年の終わりまでは大学にいたことができたので3年次後期の創成実習も含め卒論以外の単位をすべて取り終えて留学した。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細（出版社、URL等） Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

英語、留学先での友人関係、その他について。

日本では英語を話せる人が少数である一方で、日本を出てみると話せて当たり前の世界が広がっておりバイリンガルは当たり前、トリリンガル以上も珍しくない状況だった。私自身、英語が世界の公用語としてこんなにも機能しているのかと衝撃を受けた。

私は当初英語のレベルが低く、人との会話が理解できない状況であり、英語の環境下で生活するだけの英語力がないという現実を突きつけられ、そんな状況でどうやって友人を作っていくか不安だった。しかし英語力が無い初期にこそできる経験もあると思う。自分に言い聞かせていたこととしては、英語がままならない時期にどれだけの友人が作れるかということが、人としてどれだけ魅力的であるかということ。自分が聞き返すことで話の流れを崩してしまいかねずグループでいうお荷物的存在である自分と友達になりたいと思ってもらえるにはどうしたらよいかをよく考えた。(今振り返ると、言語が不自由であったとしても親しくしたいと思ってくれる人はいるため、英語しゃべれない＝お荷物と考える必要はない。)自分なりの答えの1つで特に効果的だったのは、週末等みんなが時間がある時、遊びに行く等の計画を立てたり、何をするか提案するというを行うこと。人に誘ってもらうのを待つのではなく、自分から企画し人を巻き込む側に回ろうという考え方である。結果的にはこれが実を結び友人との信頼関係も築けた。日本から出て過ごしてみると、たくさんの人と出会い、文化、習慣的な違いにも遭遇すると思う。その際に日本とそれ以外という2つのカテゴリーしかなければ違いを受け入れにくい時もあると思う。違いを感じるシチュエーションを経験するごとに、新たにカテゴリーを追加し、カテゴリー自体を増やしていくようにすると、違いを受け入れやすくなるだけでなく、どちらが良い、悪いかという2方面の見方ではなくそれぞれの良さが見えてくると思う。

9. 自由記述（日本語・1,200 字程度） / Feedback (English about 600 words)

• 以下の点を踏まえ、記述して下さい。 / Please give your feedback including the following points:

- ① 留学を終えての所感 / Please describe and evaluate your study abroad experience briefly.
- ② 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事 / What was the most impressive experience in your study abroad experience?
- ③ 留学の成果、留学前と比較して成長した点 / What is your achievement through the study abroad experience?
- ④ 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか（将来のキャリアパスも含めて） / How do you want to make use of your study abroad experience in the future including your career?

• 写真を2～3枚程度、貼り付けてください（写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい）。

Please add 2-3 photos (within 500 KB per a photo)

まず留学を終えた自分自身の変化としては自信がついたということである。その理由としては、初めての長期間の海外滞在であったが、9ヶ月間オーストラリアで過ごし抜いたこと、全く友人がいない状態から居心地のよいコミュニティを見つけ友人関係を築けたこと、またそれだけの英語力を身につけることができたこと、さらに現地で働き日本以外の国でも自分でお金を稼げたという経験から、オーストラリアでも生きていける実感が湧き、日本以外の国でも生きていけるようにするという自分自身の目標に大きく前進したと感じているからである。

留学中に働くことができたのは英語の成長、自己成長の両面から得たものは大きかった。留学後の12月から3月までの間世界を旅することを決め、そのためにお金を稼ぐ必要があった。しかしそう思い立った5月、6月はバイトを募集している店は少なく雇ってくれるところを見つけるのが非常に大変だった。オーストラリアでの仕事探しの方法として履歴書を直接店に配って歩き、同時に自分にどういう経験があって何ができるかアピールすると言うものが主流なのだが、1ヶ月間で120件ほど回って歩いた。断られる理由としては、単純に雇っていないと言うものだが、それだけ断られ続けると、自分の英語力は働くと言うことに値しない、必要とされていないと考えてしまい余計にしんどかった。幸運なことに鉄板焼きのレストランで働けることになり、その給料は平日\$29、週末\$34、祝日は\$58と想像を遥かに超えるものだった。そのおかげもあって働いた期間は4か月であったが\$10000近く貯金することができた。職場はオーナーが台湾人で、全スタッフ40人ほどなのに対して日本人は私を含めて3人で、接客時だけでなく、スタッフ間のコミュニケーションの時も英語の練習になった。初期はオーダーを取ることが恐怖でしかなかったが、3ヶ月ほどするとお客さんとの会話を楽しんだり、少しでも気持ちよく過ごしてもらえるように等お客さんを気遣える余裕も出てきた。

私自身の中で強く印象に残っているものとして1Trimesterのmiddle breakの際に友人5人で7泊8日のバリ島に旅行に行った時のことがある。その友人がアメリカ人2人、韓国人、ドイツ人で自分以外みんな流暢に英語を話す人達だった。その状態で8日間ずっと一緒にいると、会話についていけなさすぎて英語力の無さを痛感し、みんなが優しく自分を気遣ってくれるのも申し訳なく、もう1日長ければメンタルがもたないというレベルでしんどかった。その後、どれほどの英語力を身につける必要があるのか、自分の中で具体的な目標のレベルを設定することができた。また留学が始まって1ヶ月半ほど経っていたのだからその期間、人と関わる、話すことだけを念頭においており、それだけでは不十分である事に気づき、英語のインプットの勉強を自分で意識的に行う習慣のきっかけともなった。



バリ島にて



アメリカからの交換留学生の家族が来た時
パイロンベイにて



大学付近の公園でのBBQ

注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。 / This report and its contents will be uploaded on website of the HUSA and Hiroshima University, browsed at the office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad. (Student name and student number are not published). If the report and its contents are included inadequate contents to be published, it would be deleted or amended it by International Exchange Group.